

## 臨床研究に関する情報公開

当院では以下の臨床研究を実施しています。この研究は通常の診療で得られる試料や情報を利用することによって行います。このような研究は厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、個別の説明と同意を得る代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

この研究に関するお問い合わせがありましたら以下の「問い合わせ先」へご照会ください。また、試料や情報がこの研究で用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としないので以下の「問い合わせ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

**【研究課題】** 北海道における新生児乳児幼児期のビタミンD欠乏症の疫学調査  
Hospital-based Study

**【研究責任者】** 小児科 小林 一郎

**【研究目的】** 紫外線曝露もしくは食事による摂取の低下によりビタミンD欠乏症またはビタミンD欠乏性くる病が発症する。現在母子手帳において日光浴が積極的に推奨されなくなり、また母乳栄養やアレルギー性疾患などに伴う厳格な食事制限によるビタミンDの摂取不足など、ビタミンD欠乏性くる病の発症素地は十分にある。さらに、北海道は日本の高緯度地域にあり、紫外線不足からビタミンD欠乏症またはビタミンD欠乏性くる病の発症リスクが高いことが危惧されている。旭川医科大学小児科では、1999年から2004年までを対象に道内の病院（84施設）にアンケート調査を実施し、発症頻度、発症要因が検討された。（Matsuo, K. *et. al*, *Pediatr Int*, 2009. 51(4): 559-62.）。その後、ビタミンD欠乏性くる病の診断ガイドライン作成、ビタミンDのサプリメント市販などの状況が変化し、同様の調査による発症頻度を比較する重要性が出てきている。  
また、一昨年（2018）の全国調査（Kubota T, *et al*. *Endocr J*. 65:593-599. 2018）と比較することにより北海道における高頻度の発症頻度を示す事ができる。

**【研究期間】** 2015年1月から2019年12月

**【研究対象】** 対象は当院小児科外来及び病棟でビタミンD欠乏症またはビタミンD欠乏性くる病

**【問い合わせ先】**

北海道札幌市豊平区平岸1条6丁目3-40

KKR札幌医療センター 所属 小児科 担当 小林 一郎  
電話 011-822-1811 FAX 011-841-4572